

# 時報

東京明治十七年一月十八日 星期五 第五百六十二號 日曜日 休刊 定價三錢

## 公報

○內務省乙第二號 府縣東京府  
明治十年(十月)當省乙第九十三號通部通查總規則第七條左ノ通改正係此旨相違候事  
明治十七年一月十七日 內務卿山縣有朋  
第七條 職務上ノ事件ニ關シテ原告人又ハ証人引合人トナリ審判中ハ月俸全額ヲ給ス其自己ニ關スル訴訟ノ原告人又ハ証人引合人トナリ職務上ノ事件者或ハ事故アリテ出仕差止ル者ハ其月十五日前後ヲ區別シ減額半額ヲ給ス

## 叙任

○明治十六年十二月廿七日  
大藏一等官 野田 慶雄  
任大藏少書記官 四等官 宮内 盛高  
兼任方面監督 中尉從七位勳五等 池田 謙  
任農商務少書記官 池田 謙  
○明治十七年一月八日  
任兵庫縣大書記官 兵庫縣大書記官從六位 柳本直太郎  
任兵庫縣大書記官 兵庫縣少書記官正七位 篠崎 五郎

## 時事新報

○徵兵令ニ關シテ公私學校ノ區別  
今回改正徵兵令ノ發行ニ付キ徵集機關ノ特例私立學校ニ及バズテ唯官立府縣立ノニ限ルコト付テハ尙キモ課程ノ高尙ナル私立學校ハ必ズ廢減ニ屬ス可キヤ又難ク容レズ教育ノヲ要フ可キモノナリト事ハ本月七日ノ時事新報ニ大略テ論シテレバ今又其緒ニ就キ公私學校ノ區別ヲ記シテ此特例ヲ私立學校ニマデ及ボスノ要ヲ陳ベントス  
改正徵兵令第十一條ニ年滿十七歲以上滿二十七歲以下ニシテ官立府縣立學校ノ卒業證書ヲ所持シ服役中食料被服ノ費用ヲ自擔スル者ハ一因リ一ヶ年間陸軍現役ニ服セシム又其技能ニ熟達スル者ハ若干月ニシテ歸休ヲ命スルコトアル可シ云々トアリ  
又第十二條ニ官立公立學校ノ歩兵操練科卒業證書ヲ所持スル者ハ其期未タ終ラズト雖モ歸休ヲ命スルコトアル可シ云々トアリ  
又第十八條ハ事故ノ存スル間徵集ヲ豫限スルモノニシテ其第二項ニ官立府縣立學校ノ卒業證書ヲ所持スル者ニシテ官立公立學校教員タル者第三項官立大學校及ヒ之ニ準スル官立學校本科生徒トアリ  
又第十九條ニ官立府縣立學校ニ於テ修業一個年以上ノ課程ヲ卒業シタル生徒ハ六ヶ年以内徵集ヲ豫限スルコトアリ又第二十條ニハ徵集兵ニ在ルト後徵集兵ニ在ルトト同ハズ復習點呼ノヲ召集スルコトナキノ特例ヲ掲ケテ其第三項ニ官立公立學校教員トアリ  
以上ハ官立公立學校ニ屬スル特例ニシテ尙キモ私立學校トアレバ其課程ノ高尙ニ拘ハラズ依令ニ卒業證書ヲ所持シ服役中食料被服等ノ費用ヲ自擔セシムルモノトスルモノ一ヶ年

間現役ニ服スルノ願ハ叶ハズ又依令ニ其本人ガ技能ニ熟達スルモ若干月ニシテ歸休ヲ命セラル、ノ恩典ニ洩ル、コトナラン(第十一條)  
又私立學校ニ於テハ依令ニ步兵操練ノ科ヲ設ケテ其卒業證書ヲ所持スル者アルモ現役ノ期終ラズシテ歸休ヲ命セラル、ノ恩典ニ洩ル、コトナラン(第十二條)  
又現ニ學術ニ熟達シテ官立公立學校ノ教員タル者ニシテ其本人ノ出處ヲ尋レバ私立學校ニ修業シタル者ニシテ官立府縣立學校ノ卒業證書ヲ所持セザルニ於テハ夫レガ爲ニ徵集ヲ豫限セラル、ノ特例ニ洩ル、コトナラン(第十八條第二項)  
又私立學校ノ課程高尙ニシテ官立公立學校ニ等シキモノアルモ官立ナラザルガ爲ニ其本科生徒モ學力ノ如何ニ拘ハラズ豫限ノ特例ニ洩ル、コトナラン(第十八條第三項)  
又私立學校トアレバ其學科ノ高尙ニ論ナク生徒ガ依令ニ幾年ノ課程ヲ卒業スルモノ六ヶ年以内徵集ヲ豫限セラル、コトナラン(第十九條)  
又如何ニ學術ニ熟達シテ學校ノ教員ト爲リ生徒教育ノ事ヲ司ルモノモ其學校ナルモノガ官立公立ニ非ザル限リハ徵集ニ離レ復習點呼ノヲ召集セラル、コトナラン(第二十條第三項)  
改正徵兵令中特例ノ及フ處ニ就テ官立公立學校ト私立學校ト比較スルハ大ナル差違アリト云ハザルを得ズ日本國中後進ノ少年荷モ武ニ入ラズテ文ニ志シテ學問ニ從事シテ學問ヲ以テ身ヲ起サント欲スル者ハ今後斷シテ私立學校ニ修業スル者アル可ラズ然リ而シテ今學問教育上ノ實際ニ就キ日本國中ノ學校教育ハ何レノ所轄ナリヤト尋レバ  
明治十三年十二月第五十九號布告改正教育令第一條ニ云ク  
全國ノ教育事務ハ文部卿コレヲ統攝ス故ニ學校幼稚園圖書館等ハ公立私立ノ別ナク皆文部卿ノ監督内ニ在ル可シ  
其第二十一條ニ云ク  
私立學校幼稚園圖書館等ノ設置ハ府知事縣令ノ認可ヲ經ベク其廢止ハ府知事縣令ニ開申ス可シ  
其第二十二條ニ云ク  
町村立私立學校幼稚園圖書館等設置廢止ノ規則ハ府知事縣令ニ開申シテ文部卿ノ認可ヲ經ベク  
其第四十條ニ云ク  
公立學校ニ於テハ文部卿ヨリ發遣セル吏員ノ巡視ヲ拒ムコト不得ズ  
其第四十一條ニ云ク  
府知事縣令ハ管内學事ノ實狀ヲ記載シテ毎年文部卿ニ申報ス可シ  
又明治十二年十二月文部省第九號府縣令ノ通ニ云ク  
公立學校ノ教育事務縣令ニ於テ警察アリト認ルモノハ其事由ニ具シ文部卿ニ東京府縣可致此旨相違候事  
又明治十三年同省第八號府縣令ニ云ク

私立學校ノ教育上ニ弊害アリト認ルモノハ其事由ニ具シテ稟申可致此旨相違候事  
又府縣官制中府縣ノ事務注務ノ省ニ稟請シテ後ニ處分ス可キモノヲ條舉シテ其第三十一項ニ私立學校ヲ停止スル事トアリ  
以上ノ公文ニ由テ之ヲ觀レバ日本全國ノ教育事務ハ文部卿ノ統攝スル所ニシテ私立學校ハ固ヨリ其監督内ニ在ルヤ明ナリ(教育令第一條)故ニ其設置モ其廢止モ地方官ノ知ル所ニシテ(同第二十一條)設置廢止ノ規則モ文部卿ノ認可ヲ經ルコトナラン(同第二十二條)又文部卿ハ全國ノ學事ヲ統理監督スルガ爲ニ編リ之ヲ地方官ニ任スルモノニシテ時々本省ヨリ吏人ヲ發遣シテ私立學校ヲ巡視セシメ(同第四十條)尙其上ニモ地方官ニ令シテ毎年其管内學事ノ實狀ヲ具申セシメ(同第四十一條)私立學校ノ教育規則或ハ教育上ニ弊害アリト認ルモノハ(文部省第九號第八號)其事由次第ニテ之ヲ停止スルノ權アリ(府縣官制)左レハ政府ガ私立學校ヲ管轄スルノ法ハ至レリ盡セリト云フ可キモノニシテ官立公立學校ト私立學校トノ間ニ殆ト區別アルヲ見ズ唯教育令ノ第十九條ニ  
學校ニ公立私立ノ別アリ地方稅若クハ町村ノ公費ヲ以テ設立セルモノハ公立學校トシ一人若クハ數人ノ私費ヲ以テ設立セルモノハ私立學校トス  
トノ文アリテ公私ノ區別分明ナルガ如クナレバ此區別ノ由テ生スル所ハ唯其校費ノ一點ニ在ルモノニシテ學校ノ大小、學科ノ高下、教育規則等ノ得失ハ之ニ關ラズ故ニ今公私ノ學校ヲ比較スレバ費用ノ出處ヨリ異ナル可ケレハ私立學校ノ大ニシテ學科ノ低シカラザルモノモアラン公立學校ノ小ニシテ其學科ノ却ツテ私立ヨリモ低キモノモアラン而シテ其教育規則ノ如キハ公私ノ別ナク飽クマデモ政府ノ知ル所ニシテ其廢止ハ之ニ關シテ在ルモノナレバ日本國中幾千万ノ公立學校アルモ尙キモ教育上ニ弊害アルモノトハ一校モ存在ス可ラズ何レモ曾國ノ爲ニ有益ニシテ缺ク可ラザルモノナリ (以下次号)

○一月十四日龍騰發 佛國ゴロア新聞は英國政府は蘇西運河長レセツプ氏ガ英國船主ノ利益ヲ保護スルため僅ハす所ノ會議ニ批准したりと報道せり然るに英國タイムズ新聞は之を以て虛聞とあしかり  
○埃及戰事ノ近報 十二月九日埃及カイロ府府政の近報より云はるに埃及軍は又々マラーヤ手兵の爲メ大敗北を被り死傷六百八十人に及びたりと其次第を聞くに埃及軍五大隊全月五日スツキム府の城外を斥候し居たる折柄、一隊は敵軍隊來りて埃及軍と大戰争を仕掛られ死傷七

○占領したる上を  
由り佛國の首相コ  
り云へり此報  
を断念したる  
○ルセ氏の電報